

MRワクチンを接種して はしか（麻しん）と風しんを **Wで！** 予防しよう！ **費用補助**

麻しん抗体検査の結果がPA16倍以下の方へ



あなたは「はしか」にかかる可能性がある！

今回の麻しん抗体検査の結果、あなたははしかに対する免疫が低いことがわかりました。はしかのウイルスが体内に入った場合発症すると考えられます。

はしかとは？



はしかは感染力が非常に強く、症状はカゼのような症状から始まり高熱とともに全身に赤い発疹が出るのが特徴です。肺炎や脳炎を起こし重症化することがあります。



MRワクチンの必要性

はしかを治すための薬はありません。MRワクチンを接種することで、はしかと風しん両方を予防できます。

沖縄県ではMRワクチン費用（¥10,197）の補助を行っています。詳しくは抗体検査を受けた医療機関へ。 **2月末日まで！**

MRワクチンの副作用

MRワクチンは、副反応の少ない安全なワクチンの一つです。しかし希に（100万人接種あたり1～3人程度）アナフィラキシー、全身のじんましん、急性血小板減少性紫斑病になるケースが報告されています。



女性がワクチン接種を受けるときの注意

MRワクチンは、生ワクチンといい病気を起こす力がほとんどない風しんと麻しん（はしか）ウイルスを使っています。これは、病気は起こしませんが、体の中で増殖することがあり、胎児への影響が全くないとは言い切れません。そのため、妊娠中に受けることはできません。また、接種後も2ヶ月は避妊が必要です。妊娠の可能性がある女性がワクチン接種を受ける場合は、妊娠していないことを確認してから受けるようにしましょう。

感染力が非常に強い。早めにワクチン接種を！

- はしか（麻しん）の感染力はインフルエンザの3倍～9倍*！。免疫を持っていない人たちに対して、1人の感染者から512人に感染させる危険性があります。

* 基本再生算数R0（一人の感染者が免疫を持たない人へ何人感染させるか）インフルエンザ2～3、麻しん12～18

MRワクチン補助を受けるために必要なものは？

- 免許証、保険証など本人であることを証明するもの。
- 医療機関または健康診断で行った「麻しん抗体検査」の結果が基準値以下*であることが書かれた書類が必要です。

* 基準値（PA16、HI8、NT4）以下

いつまで補助を行っているの？期限があるの？

- 令和2年2月末日までですが、予算がなくなり次第終了しますので、対象者の方はお早めに接種してください。

ワクチン接種はどこでできるの？

- 事業を委託している医療機関で受けることができます。リストを沖縄県地域保健課のホームページに掲載していますのでご確認ください。（検索：沖縄県地域保健課・麻しん抗体検査）

1度打てば麻しんや風しんにはかからないの？

- 1回の接種でおよそ95%の人が風しんと麻しんに対する免疫が付きませんが、5%の人はつかないことがわかっています。なお、本事業で2回補助を受けることはできません。
- すでに免疫を持っている人が、再度予防接種を受けても特別な副反応が起こるなどの問題はありません。